

健康関連の課題：医療の質、公平性、アクセス及び感染症と気候変動に対する備え
タスクフォース 4 – S20 ブラジル 2024

仮訳

この文書は S20 ブラジル 2024 における議論の議長サマリーであり、全ての S20 メンバーが必ずしもこの立場を共有するものではない。

前文

2015 年 9 月、国連本部に集まった 193 カ国の代表は、2030 年までに達成すべきグローバルアジェンダを承認した。署名国は、地球を持続可能な生活に適したものにするためには、17 の持続可能な開発目標 (SDGs) に対して緊急に行動を起こす必要があることを認識した。中でも特に重要視されているのは、極度の貧困を含むあらゆる形態と次元の貧困の撲滅であり、これは地球規模で最大の課題であると同時に、持続可能な開発にとって不可欠な要件である。世界を持続可能で強靱な道へと導くために、大胆かつ変革的な措置が提示され、各国政府はこれらを取り入れることを約束した。これらの行動は統合的かつ不可分であり、持続可能な開発の 3 つの側面、すなわち社会、経済、環境のバランスを取らなければならない。科学と国際的な科学的協働は、これらの目標を達成するための重要なメカニズムとして機能する。このような観点から、「地球規模の変革に向けた科学」をモットーに、S20 科学アカデミーは 2024 年にリオデジャネイロで会合を開き、国連の 2030 アジェンダに関連する次の 5 つのテーマに焦点を当てた議論を行った。(1) 人工知能、(2) バイオエコノミー、(3) エネルギー移行プロセス、(4) 健康関連の課題、(5) 社会正義。

我々は、S20 ブラジル 2024 の提言が各国政府によって検討され、G20 の最終文書の指針となることを期待し、この提言を G20 諸国の政府及び社会に提示する。また、我々は、G20 諸国が社会保障、年金制度、保健福祉プログラムに大きな影響を与え、ひいては経済成長や競争力に影響を及ぼす労働力人口の規模や年齢構成の変化を見越して適応しつつ、人口動態の動向を考慮する必要があるという事実を注視している。教育制度は、高齢者と若者の双方の多様なニーズに対応することが不可欠である。社会と人口動態の動向を把握することは、技術的要件を予測し、イノベーションを推進するために不可欠である。

序文

持続可能な開発目標 (SDGs) の達成には期限が限られているため、直ちに取組を加速させることが重要である。実質的に進展させるためには、向こう数年間が極めて重要である。SDGs の目標 3 は、全ての人の健康的な生活とウェルビーイングを確保することを目的としており、ターゲット 3.8 では、各国に「全ての人々に対する財政リスクからの保護、質の高い基礎的な保健サービスへのアクセス及び安全で効果的かつ質が高く入手可能な適正価格の必須医薬品とワクチンへのアクセスを含むユニバーサル・ヘルス・カバレッジ (Universal Health Coverage : UHC) を達成する」¹ ことを具体的に求めている。UHC に向けた進展は新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 以前から既に停滞しており、パンデミックにより必須サービスがさらに阻害され、世界的に UHC への取組

¹ United Nations – Goal 3 of the Sustainable Development Goals (SDGs), Targets and Indicators (https://sdgs.un.org/goals/goal3#targets_and_indicators).

が後退した。公平性、コミュニティの関与と参画を重視する UHC の達成は、メンタルヘルス、感染症と非感染性疾患 (Non-Communicable Diseases: NCD) の管理、母子の健康と発達、そして高齢化の進行による長寿問題など、健康にまつわる様々な側面における改善を促進する可能性を秘めている。

目標 10 は、持続可能な開発において、不平等を是正し、誰も取り残されないようにすることを強調している。この目標は、特に公衆衛生危機を予防・管理するための資源と技術を共有する際に、国際的な連帯を促しつつ、グローバルな保健の公平性を促進する必要性が極めて高いこと浮き彫りにしている。効果的なコミュニケーション戦略は、保健情報を普及し、偽情報に対抗し、健康キャンペーンを実施する上で不可欠である。

さらに、年齢、社会経済的背景、文化的背景、それらの相互の相関要因、権力と抑圧の構図、食料安全保障、住居、清潔な水と衛生設備、屋内外の適切な空気の質、貧困、暴力等を含めた、健康や社会的決定要因の様々な側面を考慮した諸課題に対処しなければならない。これに加えて、人、動物、生態系の健康状態の相互依存関係を認識するワンヘルス (One Health) アプローチを活用して、気候変動、環境要因、健康の複雑な相互作用に取り組む必要がある。

予防、備え、アクセス及び持続可能性

早期介入: 予防と備えの行動は、健康問題が深刻化する前にコミュニティに対処する力を与え、リスク緩和と疾病負担を軽減するような早期介入を可能にする。ワクチン接種キャンペーン、健康教育とリテラシー、食生活とライフスタイルの選択、プライマリ・ケアへのアクセス等の予防措置に重点を置くことにより、病気が蔓延する前に、あらかじめ脆弱であることがわかっている人々に手を差し伸べることができるため、医療の成果における不平等を最小限に抑えることができる。多くのコミュニティにおいて介入許可 (Licences to intervene) は、当然のことではない。ワクチンへの躊躇や不信、法制化された健康介入に対する反発には、一般市民への慎重な説明と専門家によるコミュニケーションが必要である。文化の違いを尊重しつつ、コミュニティと政治システムを巻き込むことは、エビデンスに基づく健康介入を大規模に採用することを確実にするために不可欠である。

リソースへの平等なアクセス: 予防と備えを優先することで、リソースと医療サービスの公平な分配が確保され、健康格差を永続させがちなアクセス格差を埋めることができる。サービスが行き届いていないコミュニティに合わせたインフラ、トレーニング及びアウトリーチ・プログラムに投資することにより、人々は健康的な行動をとり、タイムリーな検査を受け、必要な治療を受けることができるようになり、最終的に健康における社会経済的不平等を縮小することができる。

長期的な持続可能性: 予防志向のアプローチは、当面の健康負担を軽減するだけでなく、医療費を削減しコミュニティ全体のウェルビーイングを向上させることで長期的な持続可能性にも貢献する。健康リテラシーの文化を育み、健康的なライフスタイルを促進し、新たな脅威に対応する医療

システムの能力を強化することで、社会は将来の健康危機に対する強靭性(レジリエンス)を構築することが可能であり、同時に、健康格差を生み出す構造的要因に対処し、全ての人にとってより公平で持続可能な健康の成果をもたらすことができる。ワンヘルスの枠組が、将来の不確実性に立ち向かうことのできる強靭かつ適応力のある保健システムの構築に貢献することは疑いない。

提言

- 特に健康のためのリソースと技術の移転に関し、健康に関するグローバルな不平等を低減し、グローバルな連帯を促進する。
- 適正な医療費で非感染性疾患のリスクを軽減する鍵として、特に、脆弱であることがわかっていないコミュニティにおいて予防医療を強化する。
- 国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態(PHEIC)や公衆衛生危機を早期発見するために、グローバルなサーベイランス、オープンサイエンス、情報共有を強化する。
- 全ての人々が、必要不可欠な医薬品と診断ツールにグローバルにアクセスできるようにする。知識の共有と技術移転を促進し、規制を合理化し、効率的な調達方針を策定することにより、医薬品、ワクチン、危機管理医薬品(medical countermeasures)の持続可能な現地生産及び地域生産のための研究開発を支援し、最終的に世界中で公平なアクセスを可能にし、高レベルのパンデミック予防、備え、対応目標を支援する。
- ヒトパピローマウイルス(HPV)やピロリ菌などの感染症によって引き起こされるがんを含め、がんの診断、予防、治療を改善するための研究開発、技術協力を促進する。
- 世界各地で人と動物に対する抗生物質の合理的な使用を促進しつつ、新たな抗生物質を緊急に開発し、ワクチン、モノクローナル抗体、その他の発展する手法を含む代替的なソリューションを支援することにより、薬剤耐性の課題に取り組む。
- 感染性及び非感染性疾患のための低コストの治療法の研究に投資する。
- 肥満、タバコ、アルコール、超加工食品、砂糖入り飲料等の問題に対処するため、身体活動や質の高い栄養を含む、健康的なライフスタイルを促進する政策を策定する。
- 効果的なコミュニケーションと情報の普及及び偽情報に対抗するための健康キャンペーンを確立する。

包摂的なデジタルヘルスサービスと技術革新の拡大

民主的なデジタルヘルスと技術革新は、強固かつ強靭な保健制度を支えるために不可欠である。ビッグデータは、社会的な不平等(保健サービスへのアクセスを含む)を調査し、社会的弱者を特定し、政策とプログラムの影響を評価するための強力な手段となり得る。大規模なデータベースに対して適切な質問がなされるようにするために、健康データは公衆衛生学者や実務者等の信頼できるパートナーが利用できるようにすべきである。データの主権とセキュリティは、各国の法を尊重するアクセスとデータ管理の重要な側面である。分子サーベイランスと疫学サーベイランスを統合することで、保健システムは病原体の出現・再出現・持続性及び抗菌薬や抗ウイルス薬への耐性を迅速に検出して対応できるようになる。革新的な保健技術がもたらす可能性のあるメリットは、主に高所得国と富裕層が享受できるものである一方で、このような人々と中・低所得国との格差を広げることにつながる可能性のある、技術及びデジタル排除を避けるように配慮すべきである。したがって、デジタルヘルスサービス、技術、イノベーションへの公平なアクセスをグローバルに確保する必要がある。

提言

- 強固かつ包摂的な保健制度を支えるために不可欠な、包摂的デジタルヘルストランスフォーメーションを推進する。
- 遠隔医療を取り入れ、遠隔地やアクセスが困難な地域を含む医療アクセスを拡大する。
- グローバルに統合されたサーベイランスと対応システム、改善された保健システム計画、大規模なパフォーマンス評価方法をサポートするため、データ収集と利活用を改善する。
- ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ (UHC) の基盤となる公平性の原則を支持する、健康のための AI 研究に投資する。
- データを統合することにより、死亡及び出生登録、入院及び外来記録、定期検査データ等を、例えば国民 ID 番号を用いて相互にリンクする。プライバシー規制や国家のデータ保護法に従って、行政の健康データを様々な情報システム（教育、社会保護、労働、住宅等）からの社会データとリンクすることにより、広範なデータベースを構築することができる。大規模なサンプルが提供されることにより、この統合は、集団健康調査に大きな付加価値を与える。
- 世界中でよく確立された医療技術への、より公平なアクセスを促進する。

メンタルヘルスにおける格差の是正

経済協力開発機構 (OECD) 諸国では、労働年齢人口の約5%が深刻な精神課題を抱えており、さらに 15%が一般的なメンタルヘルスの不調に悩まされているというエビデンスが示されている。精神疾患に関連する直接的、間接的なコストは、国内総生産 (GDP) の4%を超える可能性がある²。精神疾患はしばしば身体的な健康問題と関連し、その結果、健康状態の悪化、死亡率の増加、医療制度のコスト増をもたらす。精神的困難を抱える成人の約半数は 15 歳未満で発症していることから、幼少期において逆境に立ち向かうことや早期発見と治療の重要性が強調されている。さらに、人口の高齢化は、医療制度、社会サービス、高齢者の一般的なウェルビーイングに影響を与える。予防と早期発見を重視するライフコースアプローチをとることにより、罹患率を低下させることができ、精神障害を慢性疾患として認識することにより、障害を限定的にすることができる。

さらに、疫学データは社会的弱者が特に影響を受けていることを明らかにしている。つまり、様々な交差する要因、暴力、貧困、孤独、社会的排除が、メンタルヘルスを悪化させる決定要因として重要な役割を果たしている。それにもかかわらず、多くの個人は適切なメンタルヘルスカケアを受けていない。パンデミックは精神疾患の負担をさらに悪化させ、健康危機から生じる様々な影響が予想される。

提言

- メンタルヘルスカケアを優先的な政策と位置づけ、特に社会的弱者を対象とする。
- 学校における予防プログラムに投資し、家族やコミュニティ構造の支援と保持を含め、子供と青少年に焦点を当てたエビデンスに基づく心理社会的介入を行う。

² OECD – Focus on Health – Making Mental Health Count (<https://www.oecd.org/els/health-systems/Focus-on-Health-Making-Mental-Health-Count.pdf>).

- 家庭内暴力を最小限に抑え、軽減するための適切な措置を確保する。
- アルコール及びその他の薬物の使用を優先的な健康課題として取り組む。
- プライマリ・ケアに投資し、必要なリソース、時間、適格なトレーニングを確保し、メンタルヘルスの専門家をプライマリ・ケアに関与させる。
- 高齢患者の管理のための長期的な支援を開発する。
- 一般病院における精神疾患患者の治療環境を再評価し、患者の精神的健康と身体的ニーズに対応する。
- 倫理的な技術開発を保証し、不平等を拡大することなく、一貫したケアを促進する。
- 共通するメンタルヘルスの問題を予防・治療するための、遠隔かつ簡易なプロトコルを拡大する。

気候変動及び環境変化、食と水の安全保障、健康への影響

気候変動及び環境変化、生物多様性の喪失及び汚染は、健康と社会の持続可能性に直接的・間接的な影響を及ぼす。これらの要因は、農業生産、食料価格、食料安全保障への影響、水と快適な空気へのアクセスに影響を与える。地域の環境に大きく依存する中・低所得国(LMICs)や顧みられない人々が最も大きく影響を受ける。さらに、気候の影響を受けやすい健康リスクは、女性、高齢者、子供、少数民族、貧困コミュニティ、移民または避難民、基礎疾患を持つ人々等の脆弱で不利な立場にある人々に、不釣り合いに大きな影響を与える³。

気候変動は、動物と人間の間を伝播する感染症(人獣共通感染症)や昆虫が媒介するウイルス(アルボウイルス)の蔓延に大きな影響を与える。地球の気温が上昇し、気象パターンがますます予測不可能になるにつれて、これらの変化は、疾病媒介動物の拡大と分布の変化に好都合な条件を作り出す。この拡大は、今度はライム病、西ナイルウイルス、デング熱、ジカウイルス等の人獣共通感染症やアルボウイルス感染症の感染リスクを高める。さらに、野生動物の生息地や移動パターンに見られる気候に関連した変化により、病気の感染源となる動物と人間との接触が増加し、その結果、波及現象(スピルオーバー)の発生が促進される。気候が温暖化すると、アルボウイルスの感染シーズンが延び、発生頻度と重症度が高まる。環境保護に関する膨大な科学的エビデンスを認識し損なうことは、現在及び将来の世代にとって重大なリスクとなる。

新型ウイルス感染の生態学的ダイナミクスを理解することは、種を超えた感染ダイナミクスと異種間の相互作用を促す土地利用の変化に対処する重要性を強調する。近年のパンデミックが、特に人間と他の生物種との複雑な相互作用を理解するにあたり、科学的知識が果たす重要な役割を浮き彫りにしたことは明白である。さらに、これらの観察により、結核や COVID-19 のような世界的に大きな負担となっている疾病を予防するためには、屋内外の空気を清浄に保つ必要があることが裏付けられている。要約すると、気候変動と環境変化、動物と人の健康、食料と水の安全と安定確保は、世界的に良好な生活の質を確保するために、慎重に管理されるべき重要な三つの要素を形成している。

³ World Health Organization – Climate change(<https://www.who.int/news-room/fact-sheets/detail/climate-change-and-health>).

提言

- ヘルスワーキンググループの主要優先分野全てに気候問題を統合し、健康分野にとどまらない気候政策の策定に際し、健康面における相乗効果をもたらす機会を明らかにする。
- 気候変動と環境変化を含む、社会経済的要因と環境ハザードとの相互作用を調査する。
- 人獣共通感染症やアルボウイルスに対する気候変動の影響について、感染症に対する地域、国家及びグローバル規模のサーベイランスの改善を支援する等を含む公衆衛生及び環境管理における積極的な戦略によって対処する。
- 手つかずの環境を侵害することなく、土地利用を最適化する。
- 食料と水の安全と安定確保のための積極的な措置を講じる。
- 金採掘における水銀の使用を禁止する。
- スtockホルム条約に従い、12 の残留性有機汚染物質の使用を禁止する。
- プラスチックの使用を大幅に削減し、生分解性材料に置き換える。
- 極端な(気候)状況や環境大災害を考慮し、特に社会的弱者に対するヘルスケアと支援を計画し、また、気候関連の危機やショックに備えるコミュニティを支援する、気候変動に対し強靱な保健システムの開発に取り組む。
- 気候変動と保健への取組を支援するための資金を集め、既存のコミットメントを履行し、中・低所得国への支援を強化し、資源配分に関するグローバルな優先順位に合わせ、中央気候健康基金(central climate and health fund)の設立を検討する。